

平成29年度第3回埼玉県がん対策推進協議会 議事録

1. 日 時 平成30年1月18日(木) 午後17時～18時
2. 会 場 埼玉会館
3. 出席者 湯澤委員 新藤委員 坂本委員 康委員 熊木委員  
柴崎委員 廣澤委員 小林委員 谷崎委員 古川委員  
今野委員 山口(博)委員  
欠席者 山口(茂)委員 原澤委員 松田委員  
傍聴者 なし

4. 議事

(1) 次期埼玉県がん対策推進計画の策定について

○事務局から

- 資料1 平成30～35年度 埼玉県がん対策推進計画(案)
- 資料2 埼玉県がん対策推進計画案に対する県民コメント等実施結果
- 資料3 埼玉県がん対策推進計画案の主な修正箇所一覧
- 資料4 埼玉県がん対策推進計画案(概要・個別目標)(平成30年度～平成35年度)

に基づき取組状況を説明。

【質疑応答】

(小林委員)

- ・ 資料1の47ページ。上から8行目。「未成年」という表記がありますが、これを「20歳未満」に修正することを提案します。理由は、民法改正で成人年齢が20歳から18歳に引き下げることが予定されているため、「未成年」という表記では誤解を招きかねないと思われます。国の基本計画でも、20歳未満の者の喫煙をなくす、と明記されています。埼玉県の計画でも、「20歳未満」に修正した方がよいと考えます。

(事務局)

- ・ ご指摘の通り修正します。

(湯澤会長)

- ・ 47ページの「未成年」を「20歳未満」に変更してください。

(康委員)

- ・ 前回、高校生のがん対策の教育支援についての意見を反映させていただき感謝申し上げます。
- ・ 資料1 平成30～35年度 埼玉県がん対策推進計画(案)58ページ AYA世代のがん対策の2項目目、「特に、教育支援体制が整っていない高校生については、学びたいと

きに教育を受ける機会が確保できるよう検討を進めます」の一文だが、「確保します」と言い切っていただくことは可能だろうか。平成 35 年度まで 5 年間ある計画期間のうちに、体制は確保できると考えます。

(事務局)

- ・ 提起していただいた件につきまして、事務局の方でも検討させていただきたいと思います。検討の時間をいただきたい。

(湯澤会長)

- ・ 議事(1)については明らかな修正はなく、先ほど出ました意見を基に、一部若干の文言修正を含めて、事務局と議長に一任いただきたい。事務局は一部修正の上、本案を県議会に報告するようお願いしたい。

(2) がん登録事業の進捗状況について

○事務局から

資料5 がん登録の進捗状況

資料6 埼玉県のがん 2013 概要版

資料7 埼玉県のがん 2013 (冊子)

に基づき取組状況を説明。

【質疑応答】

(康委員)

- ・ 資料7の資料を拝見したが、非常に貴重なデータであり、読み込んで勉強させていただきます。

一つ要望ですが、先ほどの計画のほうには、小児がんということ、それから、AYA世代がんというのを重点的に取り組まれていましたが、全体の中でまとめてしまいますと、14歳以下は0.2~0.3%、AYA世代で1.1~3.3%と非常に少ないポピュレーションなので、なかなかその中の全体像がどういうことなのかわからないので、次回2014年以降の資料には、小児がんとAYA世代のがんというように項目を分け、例えばその中の疾患の内訳というようにわかりやすい資料を作成すると、今後の対策を立てる上で役に立つのではないかと思います。

(事務局)

- ・ 貴重なご意見であり、その方向で検討していきたいと考えます。

(小林委員)

- ・ がん患者の立場から申し上げますと、がん登録によって得られた情報を提供する際にはがん患者に配慮していただきたい。現状でも、5年生存率の公表によって、がん患者は不安を募らせています。それが、全国がん登録の情報が提供されることによって、不安を増加させ

るようなことはあってはならないことだと思います。国の基本計画には「患者やその家族等に対する適切な情報提供を進める」と明記されています。埼玉県は、「資料1 平成30～35年度 埼玉県がん対策推進計画（案）」の59ページに「その成果を県民に情報提供します」と書かれているだけです。全国がん登録の公表までには、まだ期間がありますので、是非、それまでの期間を使って、がん患者が残された人生を前向きに過ごすことができるようながん登録情報の提供方法について、検討していただきたいと思います。

（湯澤会長）

- ・ がん患者の不安感を少なくできるような相談機関を作るなど、検討していただきたい。

（事務局）

- ・ まだ具体的に情報を提供する方法を検討しているわけではないが、貴重なご意見を踏まえて考えていきます。

（湯澤会長）

- ・ 特殊ながん、AYA世代のがんなどの若い人のがんについては、パーセントは少ないが、問題としては、継続持続している問題が結構あります。その点に注視し、がん登録を出せばいいというのではなく、がん患者が安心できるような形を、工夫をしながらご意見をいただき進めていきたいと思います。

（3）連絡事項

（事務局）

- ・ 本年度の会議は、本日で最後です。次年度の協議会については、現時点では未定ですが、例年秋ごろの開催となっており、その際は各委員にご連絡します。

【総括】

（湯澤会長）

- ・ 予定していた議事は以上である。円滑な議事進行にご協力いただき、感謝申し上げます。

5. 閉会

（事務局）

- ・ 以上をもって、平成29年度第3回埼玉県がん対策推進協議会を閉会します。本日は、長時間にわたり、慎重な御協議をいただきありがとうございます。